排気シャッター配線加工要領書

目次

■排気シャッター配線加工要領書（J07C／J08C）　２～８ページ

■排気シャッター配線加工要領書（6D16／6D17）　９～16ページ

■排気シャッター配線加工要領書（FE6）　17～24ページ

排気シャッター配線加工要領書

HINO　レンジャー　J07C J08C

株式会社ACR

2009年11月16日版

はじめに

本書はACR NXPR（3-03）の取付け要領に付随する純正排気シャッターの配線の加工について記載されています。基本的な日野レンジャー（J08C）を使用して説明しております。実際の車両では細部で該当しない項目もありますので予めご了承ください。

また配線加工の際には、火傷、けが、感電、危険を伴う作業箇所があります。本書では本製品を安全に搭載・取付けて戴くために、特に重要な事項に関しては下記のようなマークと意味を使って説明しています。安全には十分留意して作業を行ってください。

⚠注意	誤った取付け等をすると軽傷または中程度の傷害もしくは装置の損傷となる状況を示しています。

⚠警告	誤った取付け等をすると死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況、もしくは装置の重大な損傷となる状況を示しています。

目　次

１　純正排気シャッターソレノイドの確認　4

２　純正排気シャッター配線の加工　5

２－１　純正配線の分岐　5

２－２　排気シャッタースイッチの取付け　6

２－３　配線の引き廻し　6

３　動作確認　7

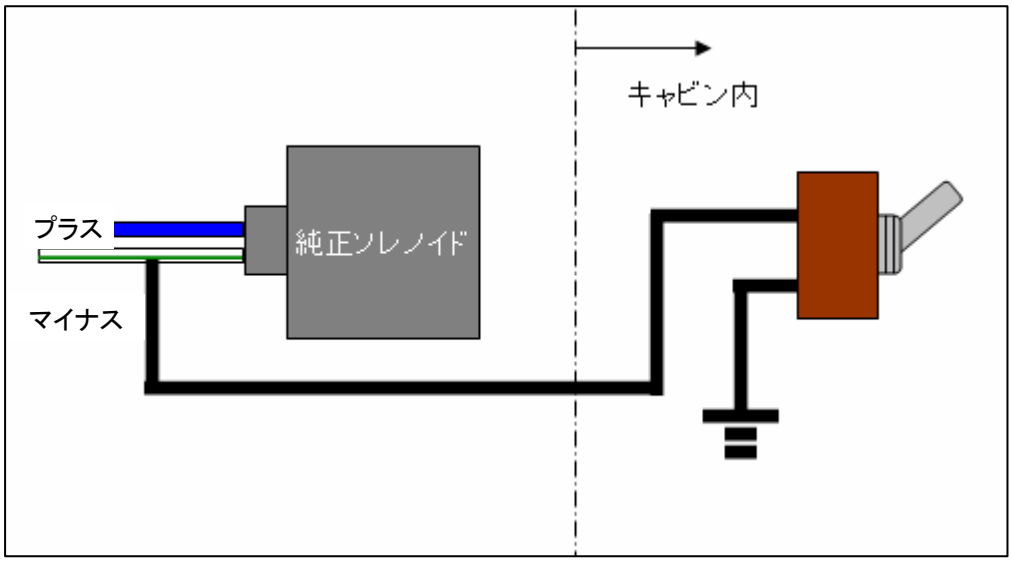
1、純正排気シャッターソレノイドの確認

純正の排気シャッターのエアーホース（パイプ）を辿り、排気シャッターのソレノイドを確認する。HINOレンジャー（J08C）は運転席後ろのエアクリーナーボックス左下にあります。

２、純正排気シャッター配線の加工

下記の配線図を参考に純正ソレノイド配線に配線を割り込ませスイッチを付ける。

配線図



２－１　純正配線の分岐

純正ソレノイドから出ている配線2本（青、白緑）のうちのマイナス側（白緑）を付属の黒線を使用し分岐する。分岐にはエレクトロタップ等を使用せず必ずハンダにて確実に行ってください。

注）年式、グレード等により配線の色や位置が異なる場合がありますので、必ずテスター等で 確認して取付けして下さい。

２－２　排気シャッタースイッチの取付け

キャビン内の運転の支障にならない場所に排気シャッタースイッチを取り付ける
注）詳細は『NXPR3-03、取付け要領書』を参照して下さい。

２－３　配線の引き廻し

純正排気シャッターソレノイドから取出した配線をキャビン内まで引き廻し、排気シャッタースイッチへ接続する。排気シャッタースイッチのもう一方はボディへアースする。
注）配線引き廻し時の注意事項は『NXPR3-03　取付け要領書』を参照して下さい。

３、動作確認

１）エンジンを始動しアイドリング状態にする。

２）純正排気ブレーキをONの位置にする。（ワイパーレバーを下方に引く）
注）この時メーター内の排気ブレーキランプは点灯しません。

３）排気シャッタースイッチをONにし排気シャッターが閉まるのを確認する。

４）排気シャッタースイッチをOFFにし排気シャッターが開くのを確認する。

５）純正排気ブレーキをOFFする。

排気シャッター配線加工要領書

三菱　ファイター　6D16 6D17

株式会社ACR

2009年11月16日版

はじめに

本書はACR NXPR（3-03）の取付け要領に付随する純正排気シャッターの配線の加工について記載されています。基本的な三菱ふそう ファイター（6D17）を使用して説明しております。実際の車両では細部で該当しない項目もありますので予めご了承ください。

また配線加工の際には、火傷、けが、感電、危険を伴う作業箇所があります。本書では本製品を安全に搭載・取付けて戴くために、特に重要な事項に関しては下記のようなマークと意味を使って説明しています。安全には十分留意して作業を行ってください。

⚠注意	誤った取付け等をすると軽傷または中程度の傷害もしくは装置の損傷となる状況を示しています。

⚠警告	誤った取付け等をすると死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況、もしくは装置の重大な損傷となる状況を示しています。

目　次

１　純正排気シャッターソレノイドの確認　4

２　純正排気シャッター配線の加工　5

２－１　純正配線の分岐　5

２－２　排気シャッタースイッチの取付け　6

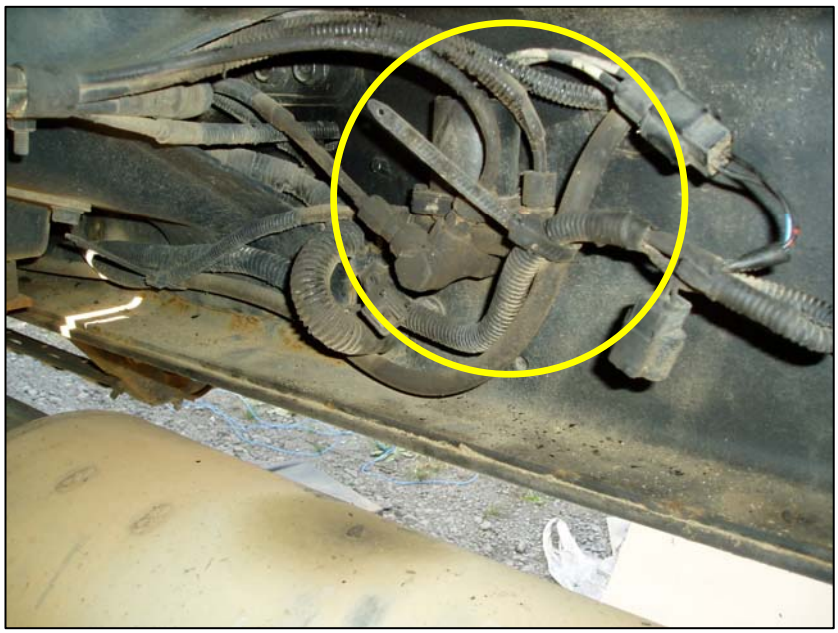
２－３　配線の引き廻し　6

２－４　IG配線の取出し　7

３　動作確認　8

1、純正排気シャッターソレノイドの確認

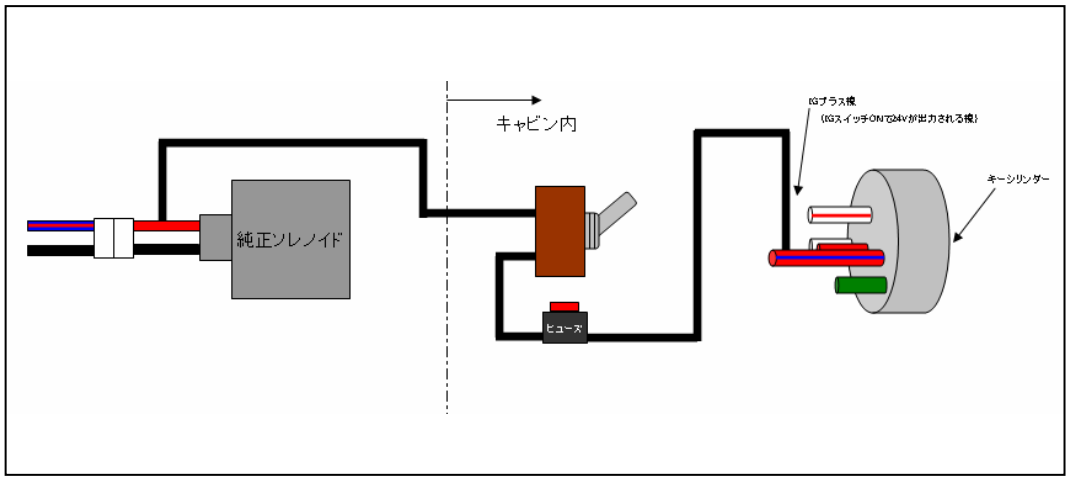
純正の排気シャッターのエアーホース（パイプ）を辿り、排気シャッターのソレノイドを確認する。三菱ふそうファイター（6D17）車両右側のフレームの内側（マフラー上方）にあります。



２、純正排気シャッター配線の加工

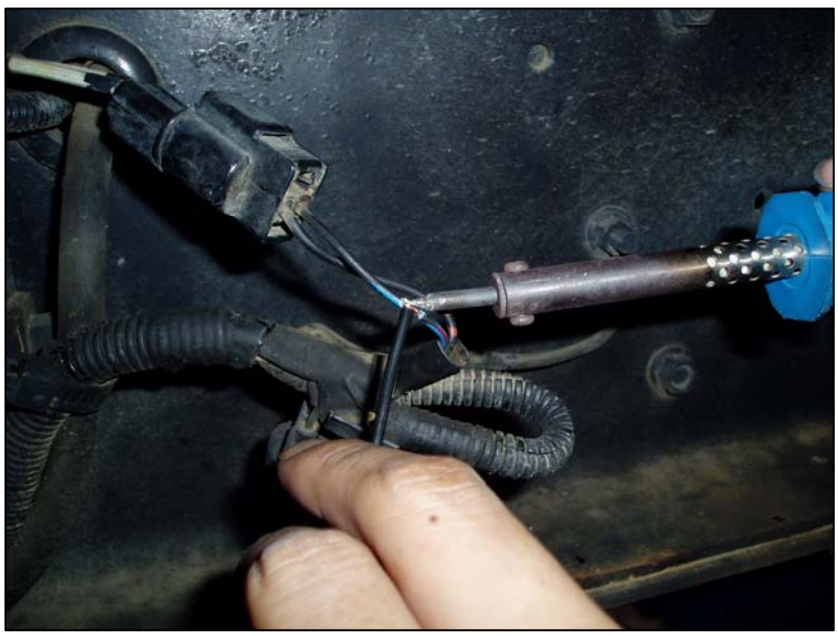
下記の配線図を参考に純正ソレノイド配線に配線を割り込ませスイッチを付ける。

配線図



２－１　純正配線の分岐

純正ソレノイドから出ている配線2本（赤、黒）のうちのプラス側（赤）を付属の黒線を使用し分岐する。分岐にはエレクトロタップ等を使用せず必ずハンダにて確実に行ってください。



２－２　排気シャッタースイッチの取付け

キャビン内の運転の支障にならない場所に排気シャッタースイッチを取り付ける
注）詳細は『NXPR3-03、取付け要領書』を参照して下さい。

２－３　配線の引き廻し

純正排気シャッターソレノイドから取出した配線をキャビン内まで引き廻し、排気シャッタースイッチへ接続する。排気シャッタースイッチのもう一方はボディへアースする。
注）配線引き廻し時の注意事項は『NXPR3-03　取付け要領書』を参照して下さい。

２－４　IG配線の取出し

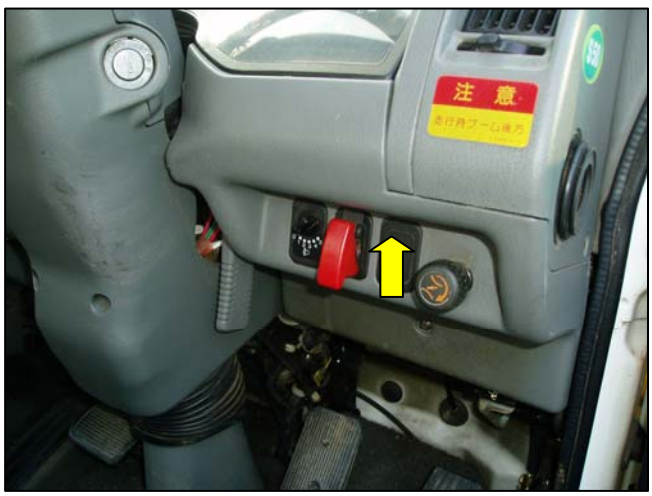
キーシリンダー裏からIGプラス線をヒューズを入れ取出してください。キーシリンダー裏の青地に赤線がIGプラス線です。
注）配線の取出しはエレクトロタップ等を使用せず、ハンダにて確実に取出してください。
注）配線の色、場所は型式、年式等で異なる場合がありますのでテスター等で確認して下さい。

３、動作確認

１）エンジンを始動しアイドリング状態にする。

２）純正排気ブレーキをONの位置にする。（ワイパーレバーを下方に引く）

３）排気シャッタースイッチをONにし排気シャッターが閉まるのを確認する。



４）排気シャッタースイッチをOFFにし排気シャッターが開くのを確認する。

５）純正排気ブレーキをOFFする。

排気シャッター配線加工要領書

日産ディーゼル　コンドル　FE6

株式会社ACR

2009年11月16日版

はじめに

本書はACR NXPR（3-03）の取付け要領に付随する純正排気シャッターの配線の加工について記載されています。基本的な日産ディーゼルコンドル（FE6）を使用して説明しております。実際の車両では細部で該当しない項目もありますので予めご了承ください。

また配線加工の際には、火傷、けが、感電、危険を伴う作業箇所があります。本書では本製品を安全に搭載・取付けて戴くために、特に重要な事項に関しては下記のようなマークと意味を使って説明しています。安全には十分留意して作業を行ってください。

⚠注意	誤った取付け等をすると軽傷または中程度の傷害もしくは装置の損傷となる状況を示しています。

⚠警告	誤った取付け等をすると死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況、もしくは装置の重大な損傷となる状況を示しています。

目　次

１　純正排気シャッターソレノイドの確認　4

２　純正排気シャッター配線の加工　5

２－１　純正配線の分岐　5

２－２　排気シャッタースイッチの取付け　6

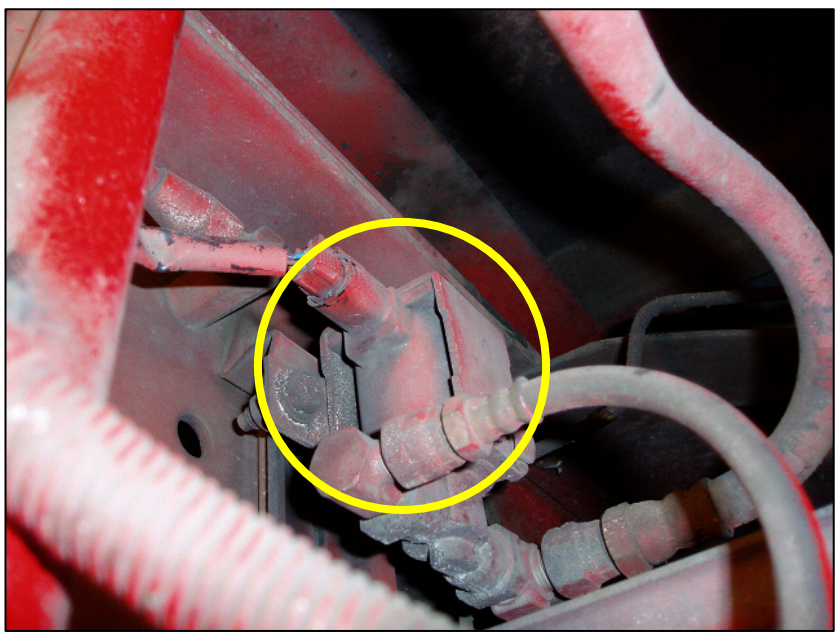
２－３　配線の引き廻し　6

２－４　IG配線の取出し　7

３　動作確認　8

1、純正排気シャッターソレノイドの確認

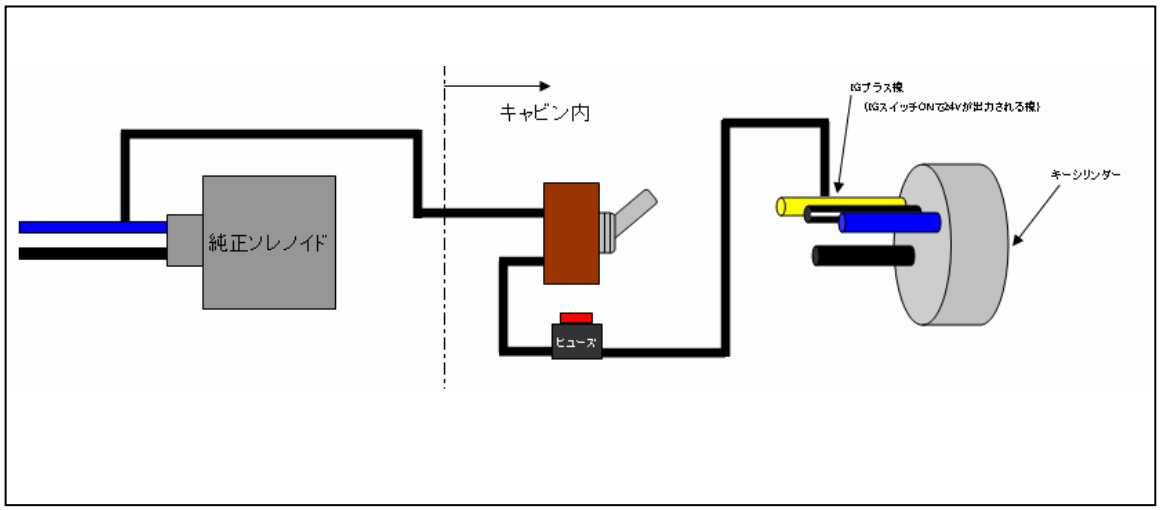
純正の排気シャッターのエアーホース（パイプ）を辿り、排気シャッターのソレノイドを確認する。日産ディーゼル、コンドル（FE6）車両右側のフレームの内側（排気ブレーキ上方にあります。



２、純正排気シャッター配線の加工

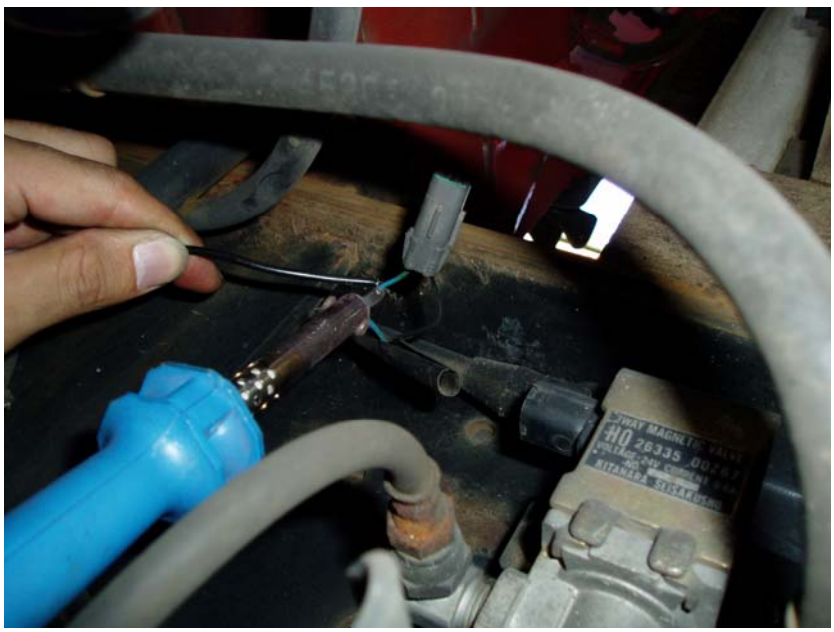
下記の配線図を参考に純正ソレノイド配線に配線を割り込ませスイッチを付ける。

配線図



２－１　純正配線の分岐

純正ソレノイドから出ている配線2本（青、黒）のうちのプラス側（青）を付属の黒線を使用し分岐する。分岐にはエレクトロタップ等を使用せず必ずハンダにて確実に行ってください。



２－２　排気シャッタースイッチの取付け

キャビン内の運転の支障にならない場所に排気シャッタースイッチを取り付ける
注）詳細は『NXPR3-03、取付け要領書』を参照して下さい。

２－３　配線の引き廻し

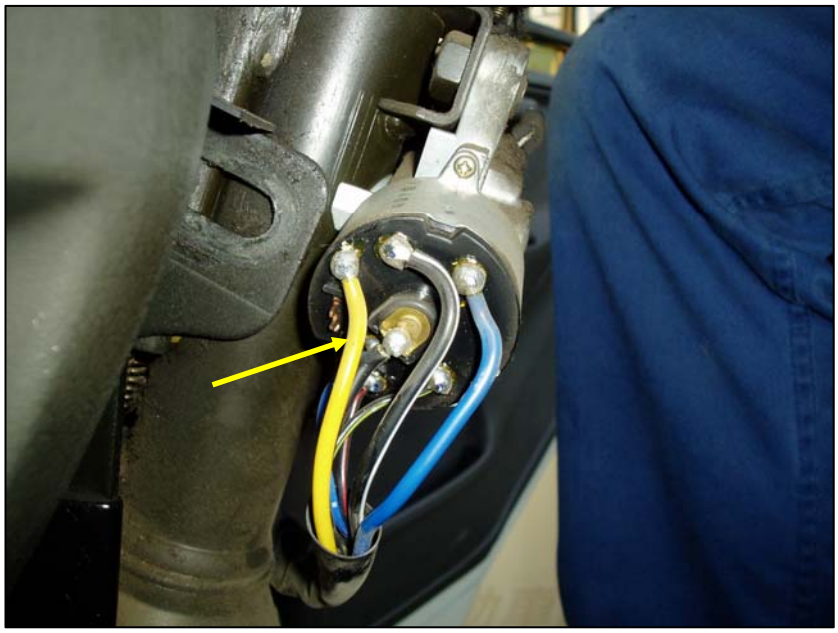
純正排気シャッターソレノイドから取出した配線をキャビン内まで引き廻し、排気シャッタースイッチへ接続する。排気シャッタースイッチのもう一方はボディへアースする。
注）配線引き廻し時の注意事項は『NXPR3-03　取付け要領書』を参照して下さい。

２－４　IG配線の取出し

キーシリンダー裏からIGプラス線をヒューズを入れ取出してください。キーシリンダー裏の黄色い線がIGプラス線です。

注）配線の取出しはエレクトロタップ等を使用せず、ハンダにて確実に取出してください。

注）配線の色、場所は型式、年式等で異なる場合がありますのでテスター等で確認して下さい。



３、動作確認

１）エンジンを始動しアイドリング状態にする。

２）純正排気ブレーキをONの位置にする。（ワイパーレバーを下方に引く）

３）排気シャッタースイッチをONにし排気シャッターが閉まるのを確認する。

４）排気シャッタースイッチをOFFにし排気シャッターが開くのを確認する。

５）純正排気ブレーキをOFFする。